



2025年2月14日

各位

会社名 株式会社プロジェクトホールディングス
代表者名 代表取締役 社長執行役員CEO 土井 悠之介
(コード：9246 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO 松村 諒
(TEL：03-6459-1025)

特別損失（減損損失）の計上及び通期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は2024年12月期の連結決算において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上しました。これに伴い、2024年9月17日に公表した2024年12月期通期の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社は、連結子会社である株式会社アルトワイズについて、2024年12月期第2四半期までの減収傾向により連結開始時の事業計画からの乖離が発生したこと、オフィス関連費用など本社費用配賦後の同社単体の営業利益が赤字となったことを受け、将来の回収可能性等を検討いたしました。その結果、同社ののれんを含む固定資産全額を減損処理し、特別損失423百万円を計上することとなりました。

なお、株式会社アルトワイズは、2024年12月期第3四半期以降は前四半期比で増収基調に転換しております。今後、グループシナジーの更なる強化等により、一層の収益力向上を図ってまいります。

2. 通期連結業績予想と実績の差異（2024年1月1日～2024年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,750	百万円 △190	百万円 △220	百万円 20	円 銭 3.69
実績値（B）	5,279	△187	△229	△393	△72.59
増減額（B-A）	△471	3	△9	△413	△76.28
増減率（％）	△8.2%	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2023年12月期）	6,283	853	832	588	102.32

3. 差異の主な理由

連結売上高につきましては、主力事業であるデジタルトランスフォーメーション事業において、社内のコンサルタント人材の育成と案件アサインを優先させた結果、外注のコンサルタントである協働パートナーの稼働数が業績予想策定時の見込みを下振れたことにより、前回発表の業績予想を下回っております。一方、同事業において、新卒社員を含む社内人材の案件アサインが順調に進捗して利益率が想定を上回ったこと、及びコス

ト削減効果により本社費用が想定を下回ったことから、連結営業利益、連結経常利益については概ね前回発表の業績予想通りの着地となりました。

また、当社グループは、2022年10月に株式会社プロジェクトテクノロジーズを連結子会社化してDX×テクノロジー事業の展開を開始しました。2023年4月には株式会社アルトワイズの株式を取得、2024年4月に株式会社アルトワイズが株式会社プロジェクトテクノロジーズを吸収合併することで、同事業の更なる強化を図ってまいりました。しかしながら、上記1.に記載の理由により、2024年12月期に株式会社アルトワイズののれんを含む固定資産全額（吸収合併前の株式会社プロジェクトテクノロジーズ分ののれんを含む）を減損処理し、特別損失423百万円を計上することになったことから、親会社株主に帰属する当期利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

以 上